

春のふれあい動物園

6月5日



3月に発生した東日本大震災以降、東北に元気を取り戻そうと全国各地で「がんばろうニッポン!」「がんばろう東北!」を合い言葉に様々なイベントが開催される中、大森山動物園も「たくさんの人々に笑顔と元気を与える」という思いから、「動物たちから元気を!」を合い言葉に、「春のふれあい動物園」を開催しました。

イベントの中で最も人気を集めたのが「動物パレード」です。ペンギン・ケヅメリクガメ・ヤギの親仔・ウサギ・モルモット・ヒヨコ・アオダイショウ・オカメインコ・ミニブタ・ポニー等がパレードに参加し、それぞれの動物たちが、飼育員と一緒に約300mの距離を行進しました。いつもは柵やガラス越しの動物たちが手が届くほど近くの距離で歩く姿をバックに撮影するなど、大変好評でした。この他にも動物とふれあえる「なかよしタイム」や「ウォーククイズ」「吹き矢体験」「猛獣舎裏側探検」などのイベントも開催しました。



親と子のふれあい写生大会

7月23日・24日



今年の親と子のふれあい写生大会は、開催日の2日間とも天候にも恵まれ、多くの方に参加していただきました。小さいお子さんから大人の方まで、想像力溢れる653点の作品が提出され、その中から入賞53点、佳作25点、入選25点が決まりました。

背伸びをするように木の皮にかぶりつくマーコールの様子を描写了、泉 千花穂さんの「せのびが好きなマーコール」、みんなでとび上がる生き生きとした元気さを鮮やかに描写した、鈴木 康太さんの「そらとぶカンガルー」、白いクレヨンと美しくあわい色あいで夢のような世界に仕上げた、別府 春和さんの「ゆめ見るアルファー」が今年の上位三賞に選ばれました。

受賞者には8月21日に大森山動物園内森のステージにて行われた表彰式において、賞状と副賞が贈呈されました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

イベント予告①

いい夫婦の日イベント 11月23日(水・祝日)

11月22日の「いい夫婦の日」にちなみ、たまにはご夫婦だけで動物園をお楽しみいただきながら、お二人で大人の時間を過ごしていくだけイベントです。



イベントレポート



秋田市長賞
「せのびが好きなマーコール」
秋田市立桜小学校3年
泉 千花穂さん



市議会議長賞「そらとぶカンガルー」
秋田大学教育文化学部附属小学校1年
鈴木 康太さん

教育長賞「ゆめ見るアルファー」
秋田市立東小学校3年 別府 春和さん

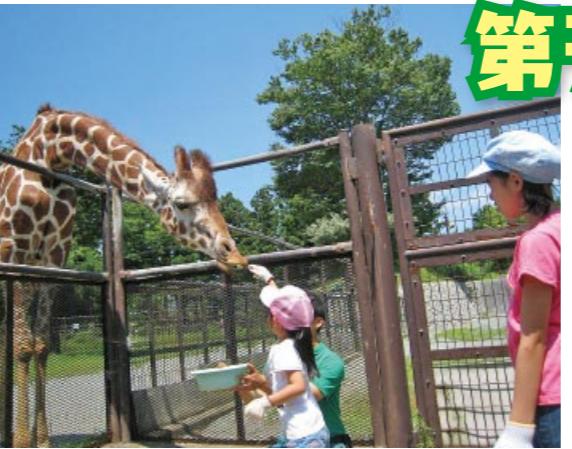
第37回サマースクール

7月30日・31日



「サマースクール」は、動物園で飼育されている様々な動物と接することを通じて、写真や映像からでは得ることのできない生命の息吹(臭いや鳴き声、心音)を実際に体験し、生命の尊さや動物の生態等について理解を深めるとともに、環境教育についても関心を持ってもらうことを目的に毎年開催しています。

今年は「体感!生命の鼓動」をテーマに掲げ、初日は35名、2日目は29名の方が参加しました。当日は天候にも恵まれ、暑さ厳しい中参加者全員が汗だくになりながらも、動物とふれあい、命の大切さを学びました。



体験!
サマースクール
の1日

レポート



夜の動物園

8月12日～15日



夏の定番イベントとして定着した「夜の動物園」。今年は8月12日(金)から15日(月)の4日間開催し、日中の動物園とは違った雰囲気の中で、普段は見ることのできない動物の姿を見る絶好の機会とあって、たくさんの方にご来園いただきました。

今年オープンした「さるっこ森」では、初めてのまんまタイムを実施。ノドジロオマキザルたちが、試行錯誤しながらスイカを割って食べる姿に来園者の目は釘付けでした。

その他の動物のまんまタイムや動物解説も大人気。獣舎前は人でいっぱい、開始時間に獣舎へ来たお客様が、動物たちの姿を見るのに苦労するほどの人気ぶりでした。会場では、子どもたちが動物たちのご飯を食べる様子をなんとかして見ようと、お父さんに肩車されたり、お母さんに抱っこされる様子が多く見られました。その中でもとくに人気を集めたのが、ライオンのまんまタイム。地上約3.5mにつるされた馬肉へ勢いよく食い付く姿に、大きな歓声が上がりいました。

イベント予告②

さよなら感謝祭 11月27日(日)

亡くなった動物の靈を慰めるとともに、動物とお客様への感謝を込めて開催します。動物たちの遺影に参加者で献花するなどの動物慰靈祭の他、お客様に感謝の気持ちを込めた特別イベントも多数開催する予定です。お誘いあわせの上、お越しください。

